

2025 年 1 2 月 1 4 日 待降節 第三主日礼拝次第

アドヴェント第3主日礼拝

前 奏 (黙 想)

点 火 242(主を待ち望むアドヴェント)3節

招きの言葉 ペトロの手紙二3章 8～9 節(新約 439 頁)

讃 美 歌 240(主イエスは近いと)

主の祈り <A>(讃美歌93-5)

詩 編 交 読 詩85編 1～14 節(交読詩編 97 頁)

聖 書 イザヤ書40章 1～11 節(旧約 1123 頁)

祈 禱

讃 美 歌 237(聞け、荒れ野から)

説 教 「主は羊飼いとて」 田中雅弘牧師

讃 美 歌 467(われらを導く)

信 仰 告 白 使徒信条<A>(讃美歌93-4)

献 金

讃 美 歌 88(こころに愛を)

派 遣 祝 福

後 奏 (黙 想)

報 告

※讃美歌は原則として全節を歌います

主の祈り A(讃美歌21 93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。

み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。

国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。 アーメン。

聖 書 イザヤ書40章 1～11 節

帰還の約束

1 慰めよ、わたしの民を慰めよと

あなたたちの神は言われる。

2 エルサレムの心に語りかけ

彼女に呼びかけよ

苦役の時は今や満ち、彼女の咎は償われた、と。

罪のすべてに倍する報いを

主の御手から受けた、と。

3 呼びかける声がある。

主のために、荒れ野に道を備え

わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ。

4 谷はすべて身を起こし、山と丘は身を低くせよ。

険しい道は平らに、狭い道は広い谷となれ。

5 主の栄光がこうして現れるのを

肉なる者は共に見る。

主の口がこう宣言される。

6 呼びかけよ、と声は言う。

わたしは言う、何と呼びかけたらよいのか、と。

肉なる者は皆、草に等しい。

永らえても、すべては野の花のようなもの。

7 草は枯れ、花はしぼむ。

主の風が吹きつけたのだ。

この民は草に等しい。

8 草は枯れ、花はしぼむが

わたしたちの神の言葉はとこしえに立つ。

9 高い山に登れ

良い知らせをシオンに伝える者よ。

力を振るって声をあげよ

良い知らせをエルサレムに伝える者よ。

声をあげよ、恐れるな

ユダの町々に告げよ。

見よ、あなたたちの神

10 見よ、主なる神。

彼は力を帯びて来られ

御腕をもって統治される。

見よ、主のかち得られたものは御もとに従い

主の働きの実りは御前を進む。

11 主は羊飼いとして群れを養い、御腕をもって集め

小羊をふところに抱き、その母を導いて行かれる。

主の前で断食をする布告が出された。10 そのとき、バルクは主の神殿で
巻物に記されたエレミヤの言葉を読んだ。彼は書記官、シャファンの子ゲ
マルヤの部屋からすべての人々に読み聞かせたのであるが、それは主
の神殿の上の前庭にあり、新しい門の入り口の傍らにあった。

讃美歌467

- 1 われらを導く 贖いの主よ、
力強い手で 旅路を守り、
そなえてください、天の糧、
命のパンを。
- 2 泉を開いて 渇きを癒し、
炎と雲との 柱を立てて、
行かせてください、世の旅路。
主よ、わが盾よ。
- 3 ヨルダンの流れを 渡るわれらの
死の恐れ砕き 導く神よ。
ほめうた歌おう 声高く、
約束の地で。

讃美歌242番

- 1 主を待ち望むアドヴェント 最初のろうそく灯そう
主が道を備えられた この時を守ろう
主の民よ 喜べ 主は近い
- 2 主を待ち望むアドヴェント 第二のろうそく灯そう
主がなされたそのように 互いに助けよう
主の民よ 喜べ 主は近い
- 3 主を待ち望むアドヴェント 第三のろうそく灯そう
主の恵み 照り輝き 暗闇を照らす
主の民よ 喜べ 主は近い
- 4 主を待ち望むアドヴェント 最後のろうそく灯そう
主はこの世に 来たりたもう 心込め 歌おう
主の民よ 喜べ 主は近い

讃美歌240番

- 1 「主イエスは近い」と呼ぶ声がする。
闇のわざを捨て 光に歩め。
- 2 のぼる陽のように キリストは来る。
心よ、めざめて よろこび仰げ。
- 3 今こそ来られる 神の小羊。
涙をぬぐって みもとにいそげ。
- 4 再び主イエスが 来られるその日、
恵みとゆるしに われらは生きる。
- 5 父・子・聖霊の ひとりの神に
賛美と栄光 とこしえにあれ。

讃美歌88番

心に愛を 豊かにみだし
日ごとのわざに つかわしたまえ

讃美歌237

- 1 聞け、荒れ野からとどく声を。
「道を備えよ、主が来られる。
谷間は高く、丘は低く、
でこぼこの道は 平らになれ」。
- 2 見よ、草花は 枯れてしぼむ。
人はみな草、野に咲く花。
この世の栄え 夢と消える。
み神の言葉は とこしえまで。
- 3 良いおとずれを 伝える者、
山々を行き、声をあげよ。
「よろこび歌え、シオンの民、
王なるみ神が いま来られる」。
- 4 主は国々の 間に立ち、
悪を正して 治められる。
羊飼いなる 主はわれらを
平和の牧場に 伴われる。